

ひざし

2017 5

No. 219



玉ねぎ定植作業の様子
(湧別町南兵村二区 板垣徳弘さん圃場にて)

第18回えんゆう農業協同組合通常総会



第18回通常総会の様子と開会挨拶を述べる中川組合長(写真左円内)

事業推進を図り組合員の

営農と生活を守る

えんゆう農業協同組合第18回通常総会が4月11日、上湧別農村環境改善センターで組合員305名(本人出席111名、代理出席39名、書面155名)が出席し、全9議案が原案通り決定しました。

総会は定刻の午前10時より、菅井専務の開会宣言の後、出席した組合員・役員・来賓全員でJA綱領を朗唱し始めました。

開会に先立ち中川組合長から、「28年度事業は、4月下旬の降雪、6月からの多雨、低温、日照不足に加え、8月17日から4つの台風が北海道を直撃し、各地で未曾有の大災害となりました。当地域においては河川氾濫などによる被害はごく一部地域での発生にとどまったが、湿害による被害は馬鈴薯、てん菜などの畑作物全般におよぶ事となり、組合員の皆さんも台風被害、湿害等の影響で管理・収穫作業等に大変ご苦労

されたことと心よりお見舞い申し上げます」と組合員にねぎらいの言葉を述べたあと、全般的な作柄は、

「畑作は低温、日照不足、湿害等の影響でてん菜、馬鈴薯は昨年と比較して大幅な減収をはじめとして、玉ねぎを除いて全般的に作柄も良くなかったが、酪農は乳価引上げ、個体販売価格の高騰、当組合独自の草地植生改善、生乳増産への対策を実施。高齢化による離農や規模縮小に伴う生産基盤縮小で生乳生産量は前年対比で減少となったが、個体販売価格の高騰もあり、過去最高だった前年実績額より下回ったものの128億7千338万円となりました」と報



議長を務めた湧別町北兵村三区の松浦健治さん(右)と遠軽町豊里の前島英樹さん(左)



行政ならびに関係機関等を代表して祝辞を述べる石田湧別町長(上)と佐々木遠軽町長(中)、JA全共連北海道本部北見支所の鹿野支所長(下)

告し、「JAへの出資金増資最終年の第5年目も終了した結果、3億2千135万円余りの剰余金処分案をご提案出来たことは組合員の皆様をはじめとした当組合への結集の賜物と心より感謝申し上げます」とお礼の言葉を述べました。

引き続き、来賓を代表して石田湧別町長、佐々木遠軽町長、鹿野JA全共連北海道本部北見支所長よりご祝辞をいただき、衆議院議員武部新氏、全国共済農業協同組合連合会北海道本部運営委員会会長の小野寺仁氏が

らの祝電を関口経済委員長から披露しました。続いて、松浦健治氏(湧別町北兵村三区)、前島英樹氏(遠軽町豊里)の2名を議長に選任し、議案審議に入り、平成28年度事業報告と決算報告、剰余金処分、平成28年度の事業計画、定款等の変更など、全9議案が原案通り承認されました。

また、「JA北海道大会決議事項の着実な実践に関する特別決議」を、管内総務委員長が強く読み上げ、満場一致で採択し、最後に中川組合長の閉会挨拶、菅井専務の閉会宣言で午後0時02分に全日程が終了しました。

◆ 今月の主な記事 ◆

- ◎ 第18回えんゆう農業協同組合通常総会……………2
- ◎ 玉ねぎ植付けがスタート！
- ◎ 今年も立茎アスパラ「遠軽によき一ず」の収穫出荷が始まりました……………4
- ◎ 平成28年度農畜産物共励会各賞決定……………5
- ◎ 第19回年金友の会総会……………6
- ◎ JAグループ通信……………7
- ◎ 第4F P水利組合リールマシン入魂式……………7
- ◎ 第7回えんゆう乳牛検定組合通常総会……………8
- ◎ JA女性部酪農班1日研修……………8
- ◎ JA女性部フレッシュミズ酪農班1日研修……………8
- ◎ 第6回えんゆう酪農ヘルパー利用組合通常総会……………9
- ◎ 平成29年度春季農事部懇談会……………10
- ◎ 理事会のあらまし……………10
- ◎ 読者の声……………12
- ◎ クロスワードパズル……………12
- ◎ 新入職員電算研修……………13
- ◎ 【連載】今こそJA！その意義と役割……………14
- ◎ いもたま作造くん……………14

玉ねぎ植付けがスタート!

好天に恵まれた4月下旬、JAえんゆう管内上湧別地区では、玉ねぎの植付けが最盛期を迎えました。

玉ねぎは、2月に播種してからビニールハウスの中で育てた苗を4月中旬から5月上旬にかけて、極早生種を皮切りに中晩生種までを順次植付けしていきます。

今回、取材させていただいた湧別町南兵村二区の板垣徳弘さんの家で



玉ねぎの植付けをすすめていく後継者の板垣亮司さん

「今年の上湧別地区では、玉ねぎ栽培農家57戸が極早生から晩生の5品種、合計549haの栽培を計画しています。今年が豊穡の秋となるのが期待されます。」

は、今年は11haの玉ねぎ栽培を予定。4月22日から植付作業を始めました。忙しい作業の合間に平成26年にUターンで就農した後継者の亮司さんに話をうかがうと、「就農して4回目の春を迎えました。両親や先輩方に教えてもらいながらやっています。去年は天候に悩まされた一年でしたので、今年が好天が続いて美味しい上湧別産の玉ねぎを消費者の皆さんに届けたいです」と笑顔で話してくれました。

今年の上湧別地区では、玉ねぎ栽培農家57戸が極早生から晩生の5品種、合計549haの栽培を計画しています。今年が豊穡の秋となるのが期待されます。

今年も立茎アスパラ「遠軽」よっきーず」の収穫出荷が始まりました

「遠軽によっきーず」のブランド名で知られる遠軽町立茎アスパラ生産組合（岡村貴幸組合長）に所属している6戸の立茎アスパラガス栽培農家では、3月31日からアスパラガスの収穫と出荷が始まりました。



出荷の目合わせをおこなう栽培農家のみなさん

取材当日は、生産組合に所属する生産者が集まり、目合わせ会を開催して、今年の作況やサイズ、栽培方法などをそれぞれのハウスを回りながら意見交換をおこないました。また、例年は5月におこなっていた遠軽町内レストランで開催していたアスパラフェアを7月中旬からに移して、夏芽の販売強化につなげたいとのこと。昨年同様、今年も販売量の増加が期待出来そうです。

生産者の皆さんは、それぞれのビニールハウス内で育てたアスパラガスを一本ずついいねいに収穫し、遠軽と生田原にある選果場でサイズ別に選果したあと、JAから青果市場やゆうパックなどを通じて各地に販売。その他、遠軽町のふるさと納税での返礼品としても出荷しています。



てん菜の部で中川組合長(左)から賞状を受け取る
湧別町上湧別屯田市街地の八巻徹さん(右)

平成28年度 農畜産物共励会各賞決定

質と量を兼ね備えた農畜産物の出荷を切磋琢磨することを目的として、昨年度から始めました農畜産物共励会の平成28年度各賞が決まり、4月11日に開催されたJAえんゆう通常総会の席上で表彰をおこないました。
受賞された組合員の皆様、おめでとうございます。

甜菜の部

八巻 徹さん

(上湧別地区)

ha当り糖収量

11.15 t

小麦の部

丹羽 範史さん

(白滝地区)

反当り収量

734kg

玉葱の部

佐藤 弘朗さん

(上湧別地区)

反当り収量

8,226kg

ブロッコリーの部

牧野 正俊さん

(上湧別地区)

反当り金額

112,333円

馬鈴薯の部

江面 暁人さん

(白滝地区)

反当り収量

4,043kg

生産乳量の部

関盛デーリィファームさん

(上湧別地区)

総生産乳量

3,241 t

酪農経営の部

木村 弘之さん

(上湧別地区)

1頭当り生産乳代

1,015,530円

1頭当り乳量の部

木村 弘之さん

(上湧別地区)

1頭当り生産乳量

11,286kg

総合乳質の部

澤口 豊さん

(上湧別地区)

年間体細胞数平均

3.7万/ml

第19回年金友の会総会

第19回年金友の会総会を、4月19日から21日にかけて、2班305名の参加を得て温根湯ホテルで開催しました。

開会挨拶に立った八巻光嘉会長は、「平成28年度の友の会事業も会員の皆様のご理解ご協力で滞りなくおこなえたことに感謝したい」と謝意を示すとともに、「本年度も引き続き会員相互の親睦と健康増進のため、パークゴルフ大会、温泉保養などに多くの会員の参加をお願いします」

と述べました。

来賓祝辞では、第一班は菅井専務、第二班は中川組合長から、JA貯金・共済を始め農協と関係係子会社の各事業を日頃よりご愛用いただいたいるお礼と平成28年度の農協の決算報告についてご挨拶をもらい、総会も事業報告ならびに事業計画について報告し、閉会しました。

懇親会では、1班は関東悟副会長、2班は宮内勝博副会長の乾杯音頭に続き、カラオケ大会では会員の皆さ

んから、自慢の喉を披露していただき、盛会のうちに全日程が終わりました。

現在、会員数は1744名となり、大きな組織体となっております。これも会員の皆さんの口コミによる宣伝と勧誘のおかげであり、感謝申し上げます。

また、当JAを新しく年金受取金融機関としてご指定いただきますと、粗品の贈呈、さらには年金友の会行事への参加、年金優遇定期貯金と、様々な特典がありますので、友人知人等のご紹介を今後ともよろしくお願い申し上げます。



総会後におこなわれる懇親会では、景品争奪ジャンケン大会や楽しいカラオケ大会に大盛り上がりでした

年金のお受取はJAえんゆうで

当JAの貯金口座で年金を受取すると、「年金友の会の会員」となり、行事に参加出来ます。

- [春] 年金友の会総会温泉一泊ご招待 (無料)
- [秋] パークゴルフ大会 (無料)、秋の温泉保養 (有料)
- [冬] 冬の温泉保養 (有料)

年金受取の金融機関変更は簡単に出来ますので、お気軽に当JA各支所金融窓口へお問い合わせください。

JAえんゆう金融課

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々
のトピックスなど、組合員の皆様に定期的
にお伝えします。

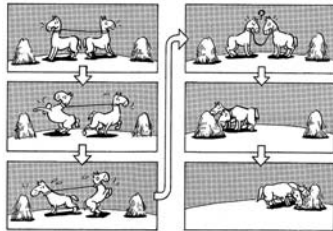
各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイ
トをご覧ください。

J A北海道中央会



本会北見支所が企画し、オホーツク地区の
J A広報誌で連載している「今こそ！J A」
その意義と役割」をご紹介します。

J Aグループを巡る報
道が多くされる中、改め
て私たち農業協同組合が
果たす意義と役割を再認
識するため作成しました。



「協同とは「日本の農協
はなぜ出来たか」などを
テーマとした、全12回の
連載です。連載を通じて、
組合員だけでなく
J A広報誌を購読している
地域の皆さんにも、
私たちの成り立ちや活動
内容を知ってもらい、
共感して頂きたいと考
えております。

J A北海道信連



平成20年度から、食と農業への理解を深め
るきっかけとなることを願い、J Aを通じて
食と農のつながりを解説した教材本とDVD
を道内の小学校へ贈呈しています。平成24年
度からは特別支援学校も対象とし、今年度は
全道1、086校に贈呈
します。

本会から北海道教育委
員会に対し教材の贈呈を
行い、教材活用の協力を
要請しております。

教育委員会への贈呈式↓



ホクレン



ホクレン女子陸上競技部は
今年度の新体制について記者
発表を行いました。足寄町出
身の清水美穂選手を主将に内
山千夏、加藤風紗、河辺友依の新人3選手を
加えた11名で全日本実業団女子駅伝や個人種
目での目標達成に挑みます。今年度は同部発足
30周年。清水主将は「30周年にふさわしい結
果を出せるようチーム全体で取り組みたい。
個人ではマラソンで日本代表となれるよう頑
張りたい」と抱負を語りました。



J A共済連北海道



農産物輸出を行う組合員やJ Aへの保障強
化の観点から日本貿易保険と業務委託契約を
締結しました。取引先の財務状況悪化等で代
金回収不可能となった場合の損害を保障する
「貿易保険」の保険料が10%引きで提供可能
となります。また、農薬散布用ドローン本体
の損害と接触事故による損害賠償の保障「ド
ローン総合保険」を共同開発。4月より共栄
火災で引き受けを開始しています。今後も組
合員やJ Aの負託に応える保障提供に努めて
参ります。

J A北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様様の生命と健
康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推
進を図ることを目的として、広報誌「すま
い」を発行しております。
年3回発行しており、様
々な医療・健康情報を発
信しております。ホーム
ページにもバックナンバ
ーを掲載しておりますの
で、是非ご一読ください。



灌水作業の安全と組合員の無病息災を祈願 第4FPP水利組合リールマシン入魂式

J A えんゆう管内の湧別町にある兵村地区では、国営ならび道営事業で用排水整備と圃場の土地改良、老朽化したリールマシンの更新が進め



灌水作業の安全と組合員の無病息災を祈願しました

られています。

平成28年度事業では、第4 FPP水利組合にある19台のうち、新しいリールマシン11台が3月中旬に納品

され、4月5日にリールマシンへの入魂式をとりおこないました。

入魂式は、上湧別神社の鎌田神主の取り進めで厳かにおこなわれ、第4 FPP水利組合の穴戸正幸組合長を始めとする組合員の皆さんと関係者一同が玉串を奉奠し、新しいリールマシンを使った灌水作業の安全と組合員の無病息災を祈願しました。

入魂式が終わった後は、安全祈願祭がおこなわれ、まもなく始まる本格的な農作業に想いをこめつつ、盛会のうちには散会となりました。

第7回えんゆう乳牛検定組合通常総会

えんゆう乳牛検定組合第7回通常総会は4月21日、J A 本所にて組合員26名が出席のもと、湧別町、遠軽町、J A えんゆう、網走農業改良普及センター、N O S A I オートホークから来賓を迎えて開催しました。

総会議案協議に先立ち、優秀農家表彰がおこなわれ、牛群能力の部5名、生涯能力優秀牛で5頭が情野修組合長から表彰されました。

総会は、平成28年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認され、役員改選では、湧別町富美の緑川将仁さんを組合長とする新体制が決まり、盛会のうちには閉会となりました。



生涯成績優秀牛表彰を情野組合長(右)から受ける(有)社名淵みどり牧場の高須正則さん

☆新役員(敬称略)

組合長	緑川 将仁
副組合長	(富美) 早川 剛志
副組合長	(東白滝) 小山田和美
理事	(生田原清里) 小田原清里
理事	村上 拓也
理事	(富美) 村田 拓也
理事	澤口 未来
理事	(北兵村二区) 松田 恒平
理事	(向遠軽) 菊地 健一
理事	(湯の里) 草野 和弘
理事	(丸瀬布金山) 岡田 拓也
会計	(千代田) 上野 邦彦
代表監事	(丸瀬布上武利) 古関 謙一
監事	(白滝北支湧別) 木村 吉里
監事	(生田原清里) 木村 吉里

哺育技術を学んできました JA女性部酪農班1日研修



T・Bファームで経営主の高谷慎二さん(写真右端)と意見交換する女性部員の皆さん

J A女性部酪農班では、4月12日に1日研修を開催し、同じJA組合員でもあり、肉牛一貫肥育農家であり、酪農家から哺育牛も預かり飼育している㈱T・Bファームさんを訪れて、哺育と離乳後の育成方法などについて、経営主の高谷さん夫妻から教えてもらうとともに意見交換をさせてもらいました。

酪農班部員からは、哺育乳の温度設定や1回あたりの給与量、離乳後ほどのようなエサを与えているかなど、様々な質問が出されて、高谷さんがわかりやすく答えている様子が見られ、短い時間でしたが有意義な研修にすることが出来ました。

今回、JAサロマ畜産販売課の石川課長から、施設概要や預託システム、現状の問題点や課題などについて詳細に教えてもらい、色々と勉強になりました。続いて、ホクレン北見地区総合家畜市場に向かい、酪農家のみなさんが牛舎から出荷した牛のセリを見学しました。

セリでは、目の前に繋がれた牛が販売者と購買者が次々とセリにかけて、販売されていく様子を見ることが出来ました。部員が今朝出荷した牛もセリにか

J A女性部フレッシュユミズ酪農班では、4月25日に部員10名が出席のもと、一日研修を開催し、佐呂間町にあるJAサロマ乳牛哺育育成センターとホクレン北見地区総合家畜市場を視察してきました。

参加者一同で、まずはJAサロマが平成18年に建立して、現在約400頭を預託飼育している乳牛哺育育成センターを視察しました。

けられていて、自分たちが育てた牛がどれぐらいの価値があるのかを知ることが出来たとともに、普段、牛舎から出荷したあとどのように売買されるのか詳しく知らなかったのが勉強になり、有意義な研修にすることが出来ました。



ホクレン北見地区家畜市場では仔牛のセリを見学しました



酪農ヘルパー利用組合総会の様子

総会は、平成28年度事業報告ならびに収支決算等の全議案が原案通り承認され、盛会のうちに閉会となりました。

第6回えんゆう酪農ヘルパー利用組合通常総会は4月21日、JA本所にて組合員41名が出席のもと、湧別町、遠軽町、JAえんゆうから来賓を迎えて開催しました。

開会挨拶にたった澤口豊組合長は「補助金の減少などで厳しい運営状況が続きますが、組合員の皆さんには事業にご理解ご協力賜ることをお礼申し上げます。利用も堅調であることから、3名の新しい酪農ヘルパーを雇用することになりました。皆さんからの温かいご指導で良い酪農ヘルパーに育てていただきたい」と話しました。

哺育育成センターと家畜市場見学 JA女性部フレッシュユミズ酪農班1日研修

第6回えんゆう酪農ヘルパー利用組合通常総会

建設的な意見要望が多く寄せられる 平成29年度春季農事部懇談会

3月30日から4月4日にかけて、22地区8会場において、春季農事部懇談会が開催され、多くの組合員が出席しました。

懇談会では、平成28年度JA収支決算、農畜産物販売高、農協がおこなっている事業進捗度合い、今後の取組などを説明するとともに、組合員から多くの意見・要望が寄せられました。

主な事項についてお知らせするとともに、理事会において十分検討し、今後の事業推進に反映させてまいります。

なお、記載漏れ・内容不備があったときはご容赦願います。

春季農事部懇談会の主な意見・要望

【営農関係】

1. 農協有の大型バスにETCを設置したい。
↓設置いたします。

2. 職員の定年退職などで顔と名前が一致しない。広報誌などで周知してほしい。

↓広報誌に各課紹介および職員の一覧を顔写真付きで紹介します。

3. コントラクターの派遣職員が1名減少すると聞いたが、昨年の秋



懇談会では多くの意見要望が寄せられました

作業も遅れたのに少ない人数で対応できるのか？

↓昨年の秋作業の遅れについては、天候による収穫作業遅れから発生したものである。コントラ作業は収穫作業を最優先としておこなっており、その年の天候によっては対応できない場合がある。なお、1名減少に係る対応については、期間派遣で来ている人員より、踏込要員を抛出しないことで対応する。

4. コントラクターの日曜日運行、ダンプ運搬について対応してほしい。

↓人員に余裕がないため当初計画より日曜運行をおこなうこととすると、平日に休日を設定する計画となり、現況では難しい。また、労働条件について法的にクリアしなければならぬこともあり、計画からの設定ではなく、その年の天候状況により柔軟に対応していきたい。

5. 最近のコントラクターの状況を見てみると、組合員がコントラクターに頼りすぎではないか。基本

的に農作業は少しでも自分でおこなうという意識改革、教育を農協がおこなうべきではないか。

↓コントラクターの人員不足もあり、組合員の協力をお願いしていきたい。

6. 土地改良について、前年度に施工されなかった部分は本年度すべておこなうのか。また、それによってH29年分が翌年に繰り越されることとなるのか。

↓H28年度分はすべて本年度中に終了予定です。また、H29年度分についてはまだ詳細が決定しておりませんが、基本的にH29年度内に終了するものと考えています。

7. 遠軽町の熊捕獲助成が1頭当たり3万円から5万円に増額となった。農協も現在の助成を増額して1頭当たり5万円の助成を猟友会に助成願いたい。

↓有害鳥獣駆除に関しては、過去に農協で10基箱罟購入をおこなっている。助成に関しても、現在各支部猟友会に対して、活動助成各7万円、熊捕獲1頭につき3万円の助成をおこなっている。猟友会に対してこれほど手厚い助成をおこなっている農協は無いと考えてい

ることより（管内において猟友会に助成をおこなっているのは当農協のみ）増額については考えていない。

8. 新規就農対策の会合等に農協が参加しておらず、対応が悪いのではないかと。もつと新規就農対策に力を入れてほしい。

↓案内のある行政主催の会合等には担当が他の用務と重ならない限り参加していません。新規就農対策については農協独自の対応はこなわず、行政と連携した中で取り進めていきたい。

【管理関係】

1. 職員の定年月について、現在の誕生月ではなく農協の会計年度末か3月末にできないのか？

↓今後定年延長等の検討と同時に考慮したい。

【畜産関係】

1. 青年部がイベント等で使用する機材について、農協で購入してほしい。

↓必要な機材等青年部と協議し検討したい。

2. 生乳検査キットの助成は今後も続けてもらえるのか？
↓今後も対応いたします。

【農産関係】

1. フォークリフトの作業免許取得について農協で取りまとめ、地元で開催してほしい。

↓募集をおこない、6/5、6/6にて開催することが決定しました。

2. 小麦乾燥経費についてどのように決定したのか？

↓乾燥経費は統一価格で決定。3円/kg程度の値上げとなる見込み。

3. 畑作農家が新しい作物に取り組む場合、農協として助成してもらえるか？

↓新規の高収益作物の導入および輪作体系に組み込める品目の導入は、畑作農家の経営安定に欠かせないものと考え。対象となる品目が今後長期に渡り必要とされる品目と判断される場合、当然農協としても何らかの支援をおこなっていく。

【資材関係】

1. 合併時の約束として、系統結集が条件。現在の各地区の飼料利用率はどうなっているのか。また、結集しない者を農協が今後も助けていく必要があるのか？

↓合併協議については、系統結集が図られることを条件に他のことは不問とするとの協議がなされたのは事実。残念ながら合併協議時に想定した利用率を大幅に下回る結果となっている。今後も引き続き系統結集に理解を求めていくが、利用していただいている組合員の不公平感を緩和するため、農協法を遵守しながら利用者にいかに還元できるか勘案してまいりたい。

【その他】

1. エコープの店舗について、赤字が続いているのにあんなに大きい店舗は必要か。

↓今後どのように改善していくか協議して抜本的改革をおこなってまいりたい。

2. 農機整備部門の遠軽支店の人員を増員願いたい。

↓今後検討します。

【春季農事部懇談会出席者】

	午 前	午 後
3月30日(木)	屯市・5の2・5の3 21名	4の3・5の1 23名
3月31日(金)	開盛・札富美・旭 10名	富美・上富美 14名
4月1日(土)	4の1・4の2 21名	
4月3日(月)	安国・生田原・清里 9名	遠軽・学田・清川・社名淵・瀬戸瀬 20名
4月4日(火)	丸瀬布・白滝 16名	合計 134名

理事会のあらまし

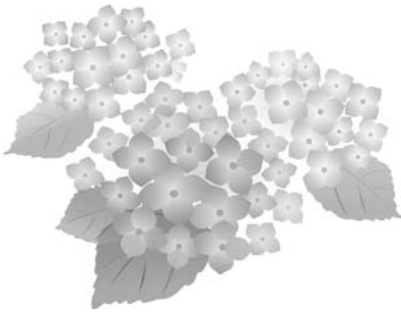
第3回理事会（平成29年4月25日）

◇報告事項

1. 春季農事部懇談会の主な意見・要望について
2. 年金友の会総会結果について
3. 組合員の異動について
4. その他

◇議案

1. 平成29年度理事報酬の配分について
2. 平成28年度玉葱本精算前の仮払について
3. 平成28年度業務報告書及び連結業務報告書の行政庁提出について
4. 原案通り承認されました
5. 就業規則他の改正について
6. 原案通り承認されました
7. 固定資産の取得について
8. 原案通り承認されました
9. 出資金の一部譲渡について
10. 原案通り承認されました
11. 会議体役員割付の一部変更について
12. 原案通り承認されました
13. JAえんゆう役員OB親睦交流会の開催と費用支出について
14. 原案通り承認されました



読者の声

名犬タッチはシカ、キツネとかけっこ・身体中ドボドボで真つ黒犬です。
(匿名)

犬は元気に駆け回って追い払うのがお仕事ですから、まさに名犬ですね。
(匿名)

先日、強風でハウスのアンカーが浮かされて、屋根の一部が破かれて飛ばされそうになって、主人と2人ではどうしようもないので支所長に電話したら、2人で飛んできて手伝ってもらいました。畑作の仲間も来てくれて手伝ってくれ、屋根の破れたところを直してくれました。本当にみなさんにお世話になってありがとうございました。ありがとうございます。
(匿名)

この間の強風は台風かと思うぐらい強かったのですが、大事に至らずほっとしています。

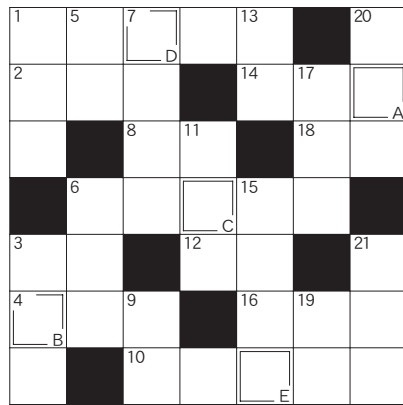
畑仕事も始まっていることと思いますが、身体にご自愛しつつ進めていただければと思います。

4月もう半ばを過ぎて、時間が過ぎるのが早い！またあつという間に気付いたら年の瀬なのだろうなと思いつつ日々がんばっています。
(匿名)

本当に早いですよね。あと2ヶ月も経てば1年の半分が終わりますからね。自分もがんばっていききたいと思えます。



プレゼント付きクロスワードパズル



A	B	C	D	E

4月号の答えは「マーガレット」でした。畑作業がはじまりました。豊穣の秋を祈念します。

湧別町開盛 佐々木公子さん
遠軽町生田原八重 延原 温子さん
遠軽町生田原八重 西原 弘子さん

～応募方法～

応募用紙に答え・住所・氏名を明記し、身近な話題・変わった出来事等を書き添えてFAXにてご応募下さい。正解者の中から抽選で毎月3名の方に、粗品をプレゼント致します。

締め切り **5月25日(木)**

タテのカギ

- 1 身を立てて故郷へ——を飾った
- 3 肩や腰が痛むときに貼ることも傷や病気が治ること
- 6 これが生命線で、これが運命線……と見ていきます
- 7 ろくろ首やのつべらぼうなど
- 9 梅雨どきには差す機会が増えます
- 11 漆で描いた文様に金粉などを付けて仕上げます
- 13 釣った魚を入れます
- 15 お酒よりもお菓子が好きな人
- 17 本当にあったこと
- 19 つるべで水をくみ上げます
- 20 1階建ての建物のこと
- 21 居酒屋や料理屋の入り口によく下げられています

ヨコのカギ

- 1 6月の第3——は父の日です
- 2 収穫物を——優・良に仕分けした
- 3 梅干しの色付けにも使われる葉野菜
- 4 止まらずに行ってしまいました
- 6 近付くと雨が降りやすくなります
- 8 草を刈るときに使います
- 10 長崎の麺料理。ちゃんぽんと並ぶ名物です
- 12 願い事を書いて奉納する板
- 14 ナガス、マッコウ、ミンクといえ
- 16 お手洗い、こ不浄などともいいます
- 18 鬼が出るか——が出るか



(株)JA北海道情報センターの方に基礎から教えてもらいました

先日、組合員各位にも広報誌でお知らせしました通り、3月1日から事務効率化と経費削減を図るため、伝票レス（パソコン入力）に変更しています。

そこで今回、3月に入った新入職員7名を対象とした電算研修を、(株)JA北海道情報センターから講師を招いて、4月20日から21日の2日間おこない、基礎からわかりやすく教えてもらいました。

新入職員の皆さんも実習を交えつつ、学んでいる様子が見られました。

パソコンでの伝票起票を学ぶ
新入職員電算研修

出会い、暮らし、思い出。そして、別れ……。

人生最後の葬祭の儀式。それは故人の哀悼の念を捧げる厳粛な場ではなくてはなりません。えんがる斎場は、突然に訪れた予告のない儀式をつつがなく執り行うため、悲しみに暮れるご遺族に、最良の方法と、こまやかな心くばりでご奉仕いたします。個人葬をはじめ、多くのご会葬の方々をお迎えする大規模な社葬、団体葬など、宗教・宗派を問わず、最新の設備で、葬祭に関するすべてのことをお手伝いさせていただきます。



〒099-0401 北海道紋別郡遠軽町学田2丁目6番地1
TEL (0158) 42-9898
FAX (0158) 42-9933

【連載】今こそJA! ~その意義と役割~
第7回 JAの販売事業①「委託販売」と「買取販売」

最近、国の規制改革会議が1年以内にJAの委託販売を廃止し、全量を買取販売に転換すべきとの提言を行ったとのニュースが報じられました。今回は組合員にとつてかわりの深いJAの販売事業について考えてみましょう。

JAの販売事業は、組合員がJAに自ら生産した農産物の販売を委託する「委託販売」の形が主力になっています。JAは委託された農産物を販売し、手数料を差し引いた代金を組合員に渡します。委託販売は同じ種類の農産物をJAの地域全体から集めることで規模の経済性が発揮され、さらに品目によっては需給調整や付加価値の向上のため、農産物を一定期間貯蔵したり、加工するなどして市場や量販店に対して価格交渉を有利に進めることができます。こうして全道段階で結集したものがホクレン、さらに全国段階にながっていくと全農という形になり、次第に販売力は強化されていくのです。

こうした委託販売は米や生乳など全道規模で大量に取り扱う



農産物に向いています。販売価格の確定までに時間がかかり、年度をまたぐこともあるといったデメリットがあります。このため、組合員からは農産物を出荷した時点で代金が支払われる「買取販売」を求める声もあります。買取販売は肉や小豆など一部の作物で行われていますが、農産物の買取にはその時々価格差といったリスクの回避が重要であり、大量の買取は資金調達などの面からも難しいのが現実です。農産物の特性を考慮しつつ委託販売と買取販売を組み合わせながら有利な販売を展開していく、これがJAの販売事業のあるべき姿ではないでしょうか。



第203号連載

いもたま作造くん

作: HIDETO
絵: HISAMI